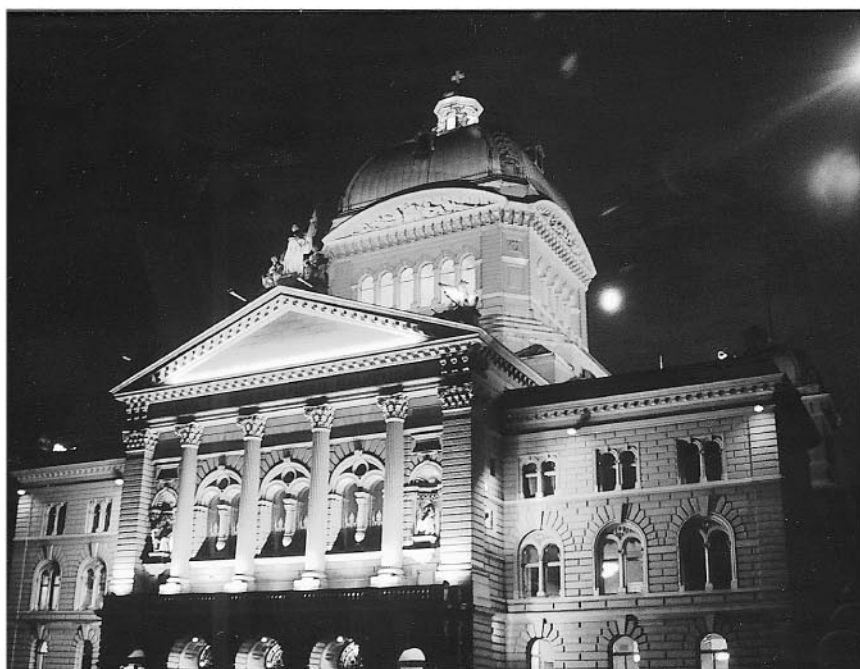


平成17年度鏡野町 友好都市交流事業

11月7日～12日の6日間、町民10名が友好都市交流事業に参加し、スイスのイヴェルドン・レ・バン市を訪問しました。今回で9回目の訪問団となる皆さんは、英会話やホームステイなど期待と不安のなかでの訪問となりましたが、すばらしい交流体験ができた研修になったようです。



連邦議会議事堂（ベルン）



老伽友里さん

海外も初めて、ホームステイも初めて、初めてづくしの交流会でとても不安ではありましたが、一緒に参加された方々はとてもよい人ばかりでリラックスして楽しむ事ができました。

私はあまりベスタロッツという人物の事を知らなかったのですが、今回、学校、ベスタロッツ資料館等を訪れて今では当然のように行われている男女平等な教育を始めた人だというのを知り勉強になりました。また、ホームステイ先では家族皆三ヶ国語を喋れると言っていて日本とは文化が違うのだと驚きました。言葉は違えど優しい人達と出会え良い思い出になりました。



居森博子さん

一ヶ月遅れの交流事業となりましたが、お天気の味方も有り、バスの車窓より牛達

緑の牧草を食べたり、休んだりのどかな田園風景。絵本の一駒一駒を見ている様でした。そしてアルプスの三山アイガー、メンヒ、ユングフラウが、前方に、左にと美しい姿を見せてくれ歓迎してくれた事には感激でした。

富も貧も、又男女にも平等に、個々に応じた自立教育の必要性を分けへだてなく、十九世紀初頭より、半ボランテアという形で行なわれた事に、今更ながら、ベスタロッツの偉大さを覚えしました。だからこそ、今日までもその精神が受け継がれているのだと。



杉本令子さん

イヴェルドンではベスタロッツが偉大な教育者であった事を改めて痛感する。小学校では一クラスに先生一人に九ヶ国籍の子供達二十人弱が仲々と授業を受けていた。

ジュネーブは公園や国際機関の建物が多くバスの中より見学する。世界遺産にも登録されている首都ベルンの旧市街地では石造りの連邦議会の建物、石畳の道路、大仕掛の

時計が今も目に焼き付いています。高速を走るバスの中からは幸運にもアルプスの山並みが見え、どこまでも続く牧草地や葡萄畑が広がっていました。この旅で見た事感じた事がこれから先少しでも皆様にお伝えできれば幸いです。



近藤悦子さん

イヴェルドン小学校では、多くの国から生徒を受け入れ、子供達は幼い頃から友達と学び遊び、すべてが平等であるということに自然に体感しています。色彩豊かな教室と活気溢れる子供達の姿。ベスタロッツの独自の教育方針が多方面に於いて受け継がれていて意欲、学力の向上、お互いの信頼感や情緒の育成にも繋がっているということで、生徒一人一人が本当に伸び伸びと学習していました。

言葉も文化も違う国で、戸惑いながらも、物資を大切に、心豊かに生活する方々と交流が出来、感謝と共に自らを顧みる研修となりました。